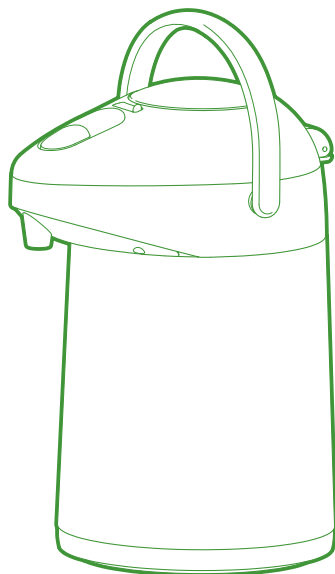


**取扱説明書**

このたびは、オルゴ中栓なしエアポットをお買い上げいただきありがとうございます。  
この製品は、飲料物を入れての保温・保冷を目的としたエア給湯式の卓上用ガラス製まほうびんです。

正しくお使いいただくために、ご使用にあたっては必ず  
取扱説明書をお読みください。お読みいただいたあとは大切に保管して、ご使用上で分からない点や不具合  
な点が生じた場合はお確かめください。



手軽に省エネ  
**まほうびん**

**プッシュボタンロック**

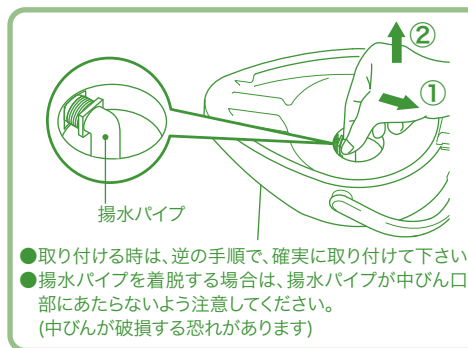
「ロック」とは、プッシュボタンを固定する機能ですので、プッシュボタンロックを「ロック」にしても傾けたり強い振動や衝撃(倒す・落とす・ぶつける等)を加えますと、飲料物が流れ出てやけどをするおそれがあり危険です。

**プッシュボタン**

プッシュボタンを押すと、中びんに空気が送り込まれ、その圧力により中びん内の飲み物が揚水パイプを通して注ぎ出ます。

**上ぶた開閉ロック****ハンドル****注ぎ口****本体****360°回転底****上ぶた****下板シールゴム****中びん(ガラス製まほうびん)****揚水パイプ**

氷を入れるときや、お手入れの際、下図のように取り外せます。

**肩(口金)**

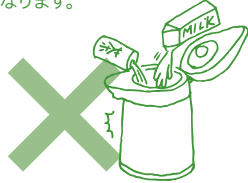
# 必ずお守りください。

- この製品は、飲料物を入れての保温・保冷を目的としたものです。
- 漏れやあふれ・とびちりは、他のものを汚す原因となります。
- ご使用になるときは、やけどや飲料の変質・変色、製品の故障や汚れを防ぐために、下記の事は必ずお守りください。

- 乳幼児の手の届く所には置かないでください。また、いたずらには充分注意してください。やけどや、けがの原因となります。



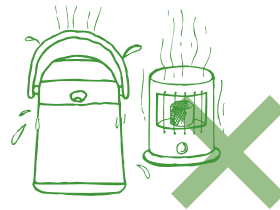
- 次の物は絶対に入れないでください。
  - ・ドライアイス、炭酸飲料など
  - ・内圧が上がり、飲料物が吹き出るなど危険です。
  - ・牛乳、乳飲料、果実など
  - ・みそ汁、スープ等塩分を含んだ物
  - ・お茶の葉、果肉など
  - ・腐敗したり、目詰まり・変質の原因となります。



- 持ち運びは必ずハンドルを持って移動してください。上ぶたを持ったり、傾けたり横にして持たないでください。漏れ、やけどや汚れの原因になります。



- ストーブやコンロなどの火のそばに近づけないでください。又は直射日光の当たる場所に置かないでください。変形・変色の原因になります。



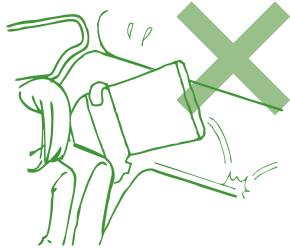
- 飲料物が少ないときは、プッシュボタンを強く押さないでください。最後に注ぎ口から飲料物が飛び散ることがあります。



- 製品の横置きは避けてください。飲料物を入れたときは、横転させないでください。また倒れたり落したりぶついたり、強い振動(特に上下の振動)や衝撃を加えないでください。中びんが破損したり、飲料物が出てやけどをする恐れがあり危険です。



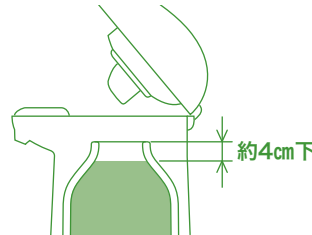
- 自動車に持ち込まないでください。飲料物が出て、やけどや汚れ、中びんの破損の原因になります。



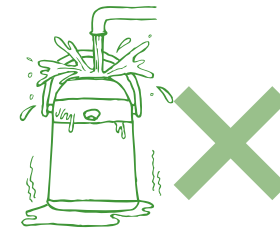
- 飲料物を捨てるときは、必ず注ぎ口を横に向けて捨ててください。注ぎ口が下を向いていると、注ぎ口から飲料物が出てやけどや他のものを汚す原因になります。



- 飲料物は肩(口金)から約4cm下で止めてください。満量にすると、上ぶたを開めるときにあふれることがあり危険です。



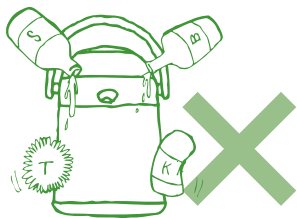
- 本体のまる洗いや、つけ置き洗いは絶対しないでください。水が侵入し、錆が発生したり、他の物を汚す原因になります。



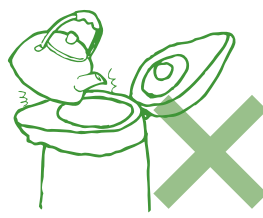
- 揚水パイプで氷をかき混ぜないでください。また、氷を入れた場合はポットを強くゆすったりしないでください。熱いものを入れて使用したあとすぐ氷や冷たいものを入れてください。中びんが破損する恐れがあります
- 熱いものを入れた場合は直接飲まないで、必ずコップなどをご使用ください。また、熱いものを注ぐ時は、本体を急に傾けないでください。飲料物が勢い良く出て、やけどなど危険です。
- 揚水パイプの煮沸はしないでください。変形し、漏れなど故障の原因になります。
- 分解修理はしないでください。故障や事故の原因になります。
- 揚水パイプや下板シールゴムは必ず取り付けてご使用下さい。
- 飲料物の保温・保冷以外には使用しないでください。
- ご使用後は、必ず揚水パイプや下板シールゴムをお手入れしてください。

## 使用上のご注意とお願い

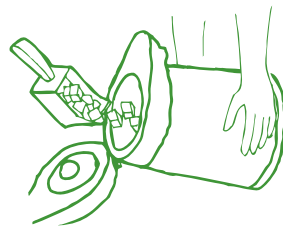
- シンナー・ベンジン・化学ぞうきん・みがき粉・たわし・クレンザー・台所用以外の洗剤・塩素系漂白剤などは使用しないでください。キズがついたり、サビ・故障の原因になります。



- 熱いやかんをプラスチック部分に触れさせないでください。傷や変形の原因になります。



- 氷を入れる場合は先に飲料物を入れてからポットを少し傾け、小さく砕いた氷をすべらせるように静かに入れてください。(中びんが破損する恐れがあります)



- 熱いお茶を入れて保温した場合、お茶の色が変わることがあります。中びん内にはお湯を入れ、お茶の時は急須等をご使用ください。
- お茶、又は糖分・塩分を含んだものを入れて使用した後は、熱湯を入れて給湯を繰り返し、充分にお手入れしてください。
- 飲料物を注ぐときは、本体が回らないよう充分注意してください。やけどの恐れがあります。
- 製品を包装してあるプラスチック袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。

## フレークス発生の場合のご注意

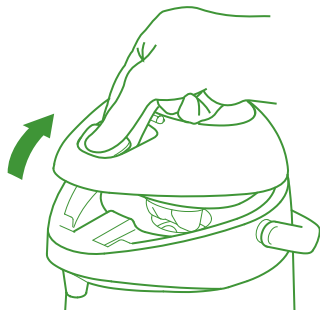
まほうびんにお湯を入れておくとキラキラ光るものを見つかることがあります。これは「フレークス」と呼ばれ、お湯の中に溶け込んでいるミネラル成分が化合して、ガラスびんの内壁に薄い膜を作り、これがはがれて浮遊したものです。フレークス自体は健康上有害なものではありませんが、もし発生した場合は、中びんに食酢を約10%加えたお湯を入れておき、30分～1時間後、柔らかいブラシなどで、びんの内壁をよく洗ってからお使いください。

# 正しい使い方

お使いになる前に必ず中びん、揚水パイプ、口金、注ぎ口をぬるま湯などで洗い、清潔にお使いください。但し、まる洗いはしないでください。

## ① 上ぶたを開ける。

- プッシュボタンロックを「ロック」の位置にセットする。
- 上ぶた開閉ロックを持ち上げ、上ぶたを開く。



## ② 飲料物(お湯・冷水など)を入れる。

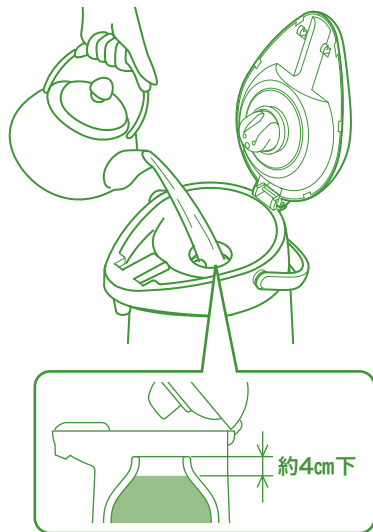
- やかんなどを使い、飲料物を中びんに入れます。

飲料物を入れる前にあらかじめ少量の熱湯(保温の場合)または冷水(保冷の場合)を入れ、約1分ほど予熱・予冷しておくより効果的です。予熱後はそのお湯を捨て、新しいお湯を入れる。

[注意]

- 飲料物は肩(口金)から約4cm下で止めてください。満量にすると、上ぶたを閉めるときにあふれることがあり危険です。

- 氷を入れる場合は先に飲料物を入れてからポットを少し傾け、小さく砕いた氷をすべらせるように静かに入れてください。(中びんが破損する恐れがあります)

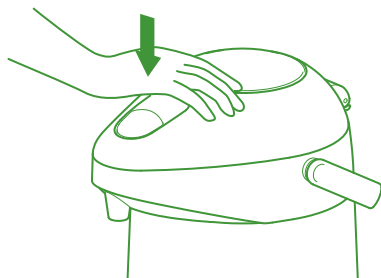


## ③ 上ぶたを閉める。

- 揚水パイプや下板シールゴムが取り付けられている事を確認して、上ぶたを最後まできっちりと閉める。

[注意]

- 揚水パイプや下板シールゴムが確実に取り付けられていないと、正常に動作しない場合があります。

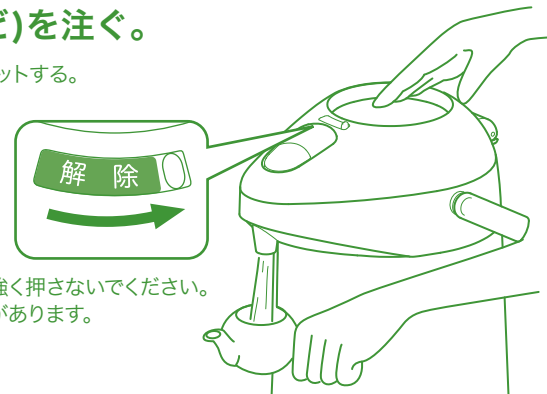


## ④ 飲料物(お湯・冷水など)を注ぐ。

- プッシュボタンロックを「解除」の位置にセットする。
- 急須やコップ等を注ぎ口の下に近付け、プッシュボタンの中心部を押す。

[注意]

- 飲料物が少ないときは、プッシュボタンを強く押さないでください。最後に注ぎ口から飲料物が飛び散ることがあります。

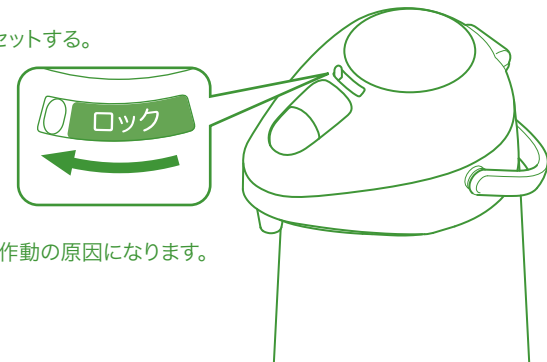


## ④ 注ぎ終わったら…

- プッシュボタンロックを「ロック」の位置にセットする。

[注意]

- プッシュボタンがロックされていないと、誤作動の原因になります。



## ④ 飲料物が残ったときは…

- 上ぶたを開け、注ぎ口を横に向けて捨ててください。

[注意]

- 注ぎ口が下を向いていると、注ぎ口から飲料物が出てやけどや他のものを汚す原因になります。

- ご使用後は、必ず揚水パイプや下板シールゴムをお手入れしてください。



# お手入れの方法 1

ご使用後は、いつまでも清潔にお使いいただくために、必ずお手入れください。

- 中びんに残った飲料物を捨て、毎日簡単なお手入れをしていただくことが、いつまでも清潔にご愛用いただくコツです。
- お手入れをおこたったり、飲料物を長い間入れたままにしておきますと、汚れが落ちにくくなります。
- 食器洗浄機・食器乾燥機などの使用はしないでください。変形や、漏れの原因になります。
- シンナー、ベンジン、化学ぞうきん、みがき粉、たわし、クレンザーなど、台所用中性洗剤以外の洗剤や、塩素系漂白剤は使用しないでください。キズがついたり、変形・変色、破損の原因になります。
- スポンジや布は柔らかいものを使用してください。
- お茶、又は糖分や塩分を含んだものを入れた後は、充分にお手入れをしてください。

## 上ふた・本体

- ・ 布(台所用洗剤を入れた水に浸し固くしぼったもの)でふきとってください。
- ・ 本体や上ふたのまる洗い、つけ置き洗いは絶対にさけてください。水が侵入し漏れや他のものを汚す原因になります。
- ・ 注ぎ口等が汚れると、「しずく」が落ちることがありますので、注ぎ口等の汚れをきれいにふきとってください。注ぎ口が汚れたまま長期間使用されますと「しずく」などが本体内部に入り込み、サビや故障の原因になります。

## 中びん

- ・ お湯でうすめた洗剤液を柄のついたやわらかいスポンジブラシに含ませ、ていねいに洗い、プッシュボタンを繰り返し押しつけて洗剤液を流し出してください。

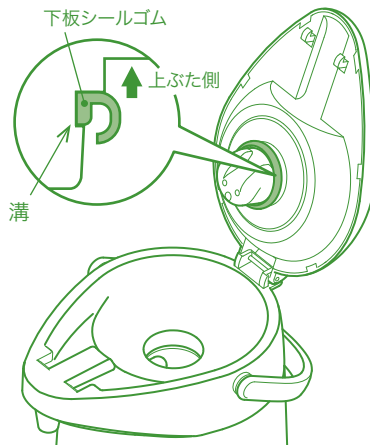
## 揚水パイプ

- ・ 揚水パイプを取りはずし、洗剤をうすめたお湯のなかで、やわらかいスポンジで洗ってください。

## 長期間ご使用にならないときは

- ・ 上ふた・本体・中びんなどの汚れを落とし、乾いた布で拭き、自然乾燥させてください。特に中びんは充分乾燥させてください。

- 下板シールゴムや揚水パイプは消耗部品です。ご使用にともない傷みますので、1年を目安にご確認ください。消耗部品が傷んだまま使用を続けていると、エア漏れが発生して飲料物の出が悪くなる原因になりますので、早めの交換をおすすめします。
- 交換の際は、品番をご確認の上、お買い上げの販売店又は当社のお客様相談室までご連絡いただくか、当社ホームページのお客様サポート(消耗品パーツの購入)よりお買い求めください。
- 下板シールゴムの交換方法  
下板シールゴムを取り替えるときは、右図のように上ふたの溝にきっちりと取りつけてください。逆に取り付けると飲料物が出ないことがありますので充分注意してください。



# お手入れの方法 2

## 麦茶やほうじ茶を入れられるときは

- ・ 麦茶やほうじ茶を入れて使うとでんぷん質などが水の通路に付着し、水の出が悪くなったり、プッシュボタン操作時に「カタカタ」と音が出たりすることがあります。その時は、沸とうしたお湯を満水まで入れ、プッシュボタンを繰り返し押し、お湯を通して通路の清掃を行ってください。
- ・ プッシュボタンを押している間、通路の固形物が取れ、急にお湯が勢いよく出る場合がありますのでやけどにご注意ください。

## こんなときは…

飲料物が出ない	・ 揚水パイプや下板シールゴムが確実に取り付けられているか確認してください。 ・ 揚水パイプや下板シールゴムが汚れたり、劣化していないか確認して下さい。
製品や飲料物からにおいがする	・ 中びんや揚水パイプに汚れが付着していないか確認してください。
保温・保冷がきかない	・ 十分に熱い(冷たい)飲料物を入れているか確認してください。中びんを予熱(予冷)をすると効果的です。 ・ 中びん内の飲料物の量が少なくないか確認してください。飲料物の量が少ないと、保温・保冷効力が弱くなります。

## お問い合わせ先

お問い合わせ品番 ASY型

品質には万全を期しておりますが、万一不具合な点、その他故障などがございましたら、使用を中止してお求めの販売店が当社お客様相談室までお問い合わせください。お問い合わせの際は、必ず本体底部に記載されている品番をお確かめください。

## お客様相談室

TEL : 06-6961-5885 FAX : 06-6969-6692

受付時間 : 9 : 00 ~ 17 : 00 (土・日・祝日・年末年始等を除く)

ホームページからもお問い合わせいただけます。☞ <http://www.allgo.co.jp>

オルゴ株式会社 本社 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1-4-2 はなてん